

令和2年8月7日

学生、教職員の皆様へ

学 長 上 田 孝 典

お盆休み及び夏季休業期間中における新型コロナウイルス感染症  
防止対策について

県内の感染状況をふまえ、7月30日に福井県から「福井県感染拡大注意報」が発出され、また、全国的にも感染拡大が止まらない状況です。

本学においては、学生及び教職員の行動指針及び学長通知にて、感染防止のための対応を行ってきたところですが、お盆休み及び夏季休業を迎えるにあたって、再度、7月17日及び7月31日付け学長通知(別添)を踏まえ、各自が適切に対応するようお願いいたします。

もうすぐ、お盆休み及び夏季休業です。多くの人が帰省を考えているかと思えます。

お盆休み等に帰省した場合、高齢者と接する機会や飲酒・飲食の機会も多くなることが考えられます。したがって、新型コロナウイルス感染が広がっている現状では、帰省する場合には、「基本的感染防止策(手指消毒やマスク着用、大声を避ける、十分な換気など)」の徹底や3密を極力避けるとともに、特に大人数の会食など感染のリスクが高い状況を控えるなど、高齢者等への感染につながらないよう、注意をお願いします。

そうした対応が難しいと判断される場合には、感染が収まるまで当分の間、オンライン帰省を含め慎重に考慮していただきたいと思えます。また、そもそも、発熱等の症状がある方は、帰省は控えて下さい。感染リスクが高い場所に最近行った方は、慎重に判断してください。

県の発表する「感染拡大注意地域」は日々更新されるため、各自確認してください。  
<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/kansensyo-yobousessyu/corona.html>

発熱や風邪の症状が見られ、新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合には、通学・通勤をせずに、まず県の相談窓口「帰国者・接触者相談総合センター」TEL(0776)20-0795(電話受付時間 7:00~21:00、時間外は携帯電話対応)に相談してください。

一人ひとりが福井大学の構成員、責任ある大人としての自覚とプライドを持った行動をとることが、新型コロナウイルス感染拡大の防止に繋がります。どうぞ、皆様のご理解とご協力をお願いします。福井大学人として共に力を合わせこの未曾有の難局を乗り越えましょう。

【本件担当・連絡先】

総務部総務課

TEL 0776-27-8936 (内線: 文京 2015)

E-mail: s-soumu@ad.u-fukui.ac.jp

令和2年7月31日

学生、教職員の皆様へ

学 長 上 田 孝 典

「福井県感染拡大注意報」発令による本学の対応について

昨日7月30日に、県内の感染状況をふまえ福井県から「福井県感染拡大注意報」が発出され、また、全国的に飲食店における会食などの場でクラスターが多く発生し、大学生についてもこのような場所での感染例が確認されています。

本学においては、学生及び教職員の行動指針により対応してきたところですが、この度の全国的な拡大を受け、7月17日付学長通知(別添)と併せて下記のとおり適切に対応するようお願いいたします。

記

「新たな日常」による、うつらない・うつさせないための以下の行動をとってください。

- 引き続き、感染拡大地域への不要不急の往来は、原則禁止とする。県の発表する「感染拡大注意地域」は日々更新されるため、各自確認すること。やむを得ず、訪問する場合は、用務場所以外の施設(特に全国的にクラスターが発生しているような施設)に立ち寄らないようにすること。 <https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/kansensyo-yobousessyu/corona.html>
- 日頃から3密(密閉、密集、密接)が発生する場所を徹底して避けること。会食などの機会には、ステッカー掲示店舗の利用を推進する。
- マスクの着用、手洗い、消毒、換気を徹底すること。
- 大声を出さないこと。(例:飲食店等での大声、カラオケ、イベント・スポーツ観戦等の大声)
- 多人数での集団旅行は避け、課外活動における合宿・大会参加等は禁止する。  
課外活動等の注意点については、7月8日付の学生行動指針を必ず参照すること。  
<https://www.u-fukui.ac.jp/wp/wp-content/uploads/Behavior-guideline-2020-07-08.pdf>
- 課外活動の顧問教員等は、学生に対して感染リスクに関する指導を徹底すること。
- 厚生労働省において開発された「新型コロナウイルス接触確認アプリ(COCCA: COVID-19 Contact Confirming Application)」を登録することを推奨する  
[https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa\\_00138.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/cocoa_00138.html)
- 発熱や風邪の症状が見られ、新型コロナウイルスへの感染が疑われる場合には、まず、県の相談窓口(8/3開設予定)TEL(0776)20-0795(電話受付時間7:00~21:00、時間外は携帯電話対応)に相談すること。

【参考】文科省通知:飲食店等におけるクラスター発生の防止に向けた取組の徹底について(依頼)

[https://www.mext.go.jp/content/20200729-mxt\\_kouhou01-000004520\\_01.pdf](https://www.mext.go.jp/content/20200729-mxt_kouhou01-000004520_01.pdf)

令和2年7月17日

学生、教職員の皆様へ

学長 上田 孝典

### 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための福井県外への移動自粛について

現在、首都圏を始め全国的に新型コロナウイルス感染症の拡大がみられ、福井県内においても、7月12日に75日ぶりに感染者が確認されました。

本学においては、学生及び教職員の行動指針により対応してきたところですが、この度の全国的な拡大を受け、本日7月17日から当分の間、下記のとおり適切に対応するようお願いいたします。

#### 記

○東京を始めとする首都圏(埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県)、大阪府及びその他継続して感染者が発生している地域(以下「感染拡大地域」という。)への不要不急の往来は、原則禁止すること。

○学生の就職活動、インターンシップ活動において移動する場合は、7月8日付の学生行動指針(別紙2)を必ず参照すること。

<https://www.u-fukui.ac.jp/wp/wp-content/uploads/Behavior-guideline-2020-07-08.pdf>

○職員の場合、感染拡大地域への出張は、真にやむを得ないものを除き、自粛すること。

○やむを得ず感染拡大地域へ移動する場合においても、用務場所以外の施設(特に全国的にクラスターが発生しているような施設)に立ち寄らないようにすること。

○感染拡大地域から、福井県に移動する場合は、移動経路の把握をするとともに、移動前後を含めて必ず注意深く健康観察を行うこと。なお、体調の変化があった場合には、大学(職場)に連絡し必要な対応を行うこと。

○引き続き、手洗い・消毒などの適切な措置を講ずると共に、人と人との間隔を空け、3つの「密」を徹底的に避けること。

○PCR検査について

- ・発熱や咳、全身の倦怠感等の症状があるときは、感染拡大防止のため、事前に相談窓口、帰国者・接触者相談センターやかかりつけ医に電話で相談すること。

- ・同じ症状が続く場合は、複数の医療機関を受診する前に保健所へ相談すること。

- ・その上で、保健所並びに指定医療機関にて保健所が判断しPCR検査を受けることができる。

#### 【福井県内の相談窓口】

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/kenkou/kansensyo-yobousessyu/corona-denwa.html>

【本件担当・連絡先】 総務部総務課

TEL 0776-27-8936 (内線: 文京 2015)

E-mail: s-soumu@ad.u-fukui.ac.jp

## お盆休みにおける帰省等のあり方について

令和 2 年 8 月 5 日  
新型コロナウイルス  
感染症対策分科会提言

お盆休みの時期が迫っている中、次の分科会開催を待たず、私どもとして政府に対し、以下、提言を行うこととしました。

### 【提言】

もうすぐお盆休みです。多くの方が帰省をお考えになっているかと思います。お盆休みに帰省した場合、高齢者と接する機会や飲酒・飲食の機会も多くなることが考えられます。したがって、新型コロナウイルス感染が広がっている現状では、帰省する場合には、「基本的感染防止策(手指消毒やマスク着用、大声を避ける、十分な換気など)」の徹底や三密を極力避けるとともに、特に大人数の会食など感染のリスクが高い状況を控えるなど、高齢者等への感染につながらないように注意をお願いします。

そうした対応が難しいと判断される場合には、感染が収まるまで当分の間、オンライン帰省を含め慎重に考慮していただきたいと思います。また、そもそも、発熱等の症状がある方は、帰省は控えて下さい。感染リスクが高い場所に最近行った方は、慎重に判断して下さい。

以上のメッセージを政府として国民に是非発信していただく必要があると考えています。